

YELL エール

第4号

那須教育事務所ふれあい学習課
〒321-0056 栃木県大田原市中央 1-9-9
Tel:0287(23)2177 FAX:0287(23)2193
Mail:nasu-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

Vol 4 平成22年 9月

学校コーディネーター

— 学校支援ボランティアに関する先進事例 —

酷暑が終わり、やっと秋めいてきましたが、小中学校は前期のまとめの忙しい時期をお迎えのことと思います。

さて、前号で生涯学習係や有資格教員は、学校支援ボランティアに関する情報の一元化を試みてほしいといった記事を掲載しましたが、その段階がクリアできたら、次は「**学校コーディネーター**」の役を担ってほしいと考えています。各種の授業や事業で学校支援ボランティアを依頼する際、効率良く進めるために各担当者が窓口になるケースが多いのですが、年度ごとに担当者が変わる場合などは継続性の問題が出てきます。継続的に学校支援ボランティアに関わってもらうためには、**学校コーディネーターが、先生方のニーズを掌握し、それに適う学校支援ボランティアを探す**のが理想です。

すでに、生涯学習係や有資格教員が学校コーディネーターをやっている小学校では、年度当初や月例の職員会議で、各学年の事業や授業に必要な学校支援ボランティアをあげてもらい、その情報をもとにボランティアを探す方法をとっています。そうすることによって、「**年度が替わっても、また、人が入れ代わっても継続的に学校支援ボランティアを受け入れられる。**」「**年度を重ねる事に、有効的な学校支援ボランティアの活用方法が見えてくる。**」「**窓口となる担当教師や学年主任の負担を軽減できる。**」等のメリットがあるようです。

しかし、ひとりで学校全体のボランティアを探すのは、大変です。そこで、学校コーディネーターと対になる関係にあるのが、**地域コーディネーター**です。今回は、**地域コーディネーター**について説明します。



学校コーディネーターがいると、学校支援ボランティアの活用が効率的になります。

ふれあいコラム

ものづくりにチャレンジ

多忙な毎日を送っている先生方は、趣味どころではないとお考えでしょうが、時には趣味を広げたり、もの作りをしたりすることは大切なこと。そこで、那須塩原市立大山小学校（手塚勝男校長）では、子どもたちに作品を作らせるなら、教職員にもチャレンジしてもらおうと「職員による夏休み作品展」を実施しました。

子どもたちの作品が並ぶ一角に、先生方が夏休みをかけて製作した力作がずらり。子どもや保護者は大喜びで、作品に見入っていました。出品作は「パッチワーク」「ドールハウス」「七輪陶芸」「水彩画」「縄文土器」等多岐にわたり、普段は見ることのできない一面を、垣間見られたようです。そして、すでに職員室では来年の作品づくりに向けて、話が盛り上がっているとか？

こんな、趣味の世界への誘い方も、いいものですね。



こちらが、手塚校長先生の作品。木工・陶芸等、多岐な趣味をお持ちです。

社会教育主事の紹介

氏名：小林 己伸 先生
勤務先：独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立那須甲子青少年自然の家



職名：企画指導専門職
メッセージ：環境学習プログラム集（登山編）の作成、学校長期指導者養成研修等の担当をして参りました。本年度は特に、『水』に焦点を当てた「環境スタディ」（8泊9日）事業を展開し、東北・関東の子ども30名と阿武隈川・那珂川の源流から河口までを探索して来ました。当所（那須甲子）や環境学習に興味のある方は、ぜひご連絡ください。

ステップアップ研修のお知らせ

今年度の社会教育主事有資格者ステップアップ研修は、次の通りです。

日時：平成22年12月2日（木） 14時～

場所：大田原市金田北地区公民館

内容：講話・ワークショップ

備考：社会教育主事講習事後研修も兼ねています。

***** 次回のエールは10月下旬に発行予定です。*****